

NPO 法人自然塾丹沢ドン会の活動

～丹沢山ろく・名古屋 棚田の復元と米づくり・生き物たち～

秦野市名古屋は国道 246 号線からわずか 800 メートルほど入ったところですが、都会の喧騒を忘れさせる美しい棚田が、現在も地元農家や NPO などにより営まれています。田んぼには沢の水が流れ、澄み渡る青空にはノスリやオオタカが舞い、吹き渡る風が土のおいさを運んでくれます。田んぼには、アカハライモリ、タイコウチ、ホトケドジョウなどが生息し、**水生生物の楽園**となっています。四季折々、生き物と自然が繰り広げる多彩な営みの舞台であるこの空間では、人間の都合は少し控えめにしたさまざまな活動が行われています。生き物がいっぱいの棚田では、苗づくりから行う不耕起栽培による米づくり、畑では、種蒔き・刈り取り・そば打ちまで楽しめるソバづくりや、野菜づくりなど、**安全・安心な食べ物づくり**が行われています。

丹沢ドン会では、地元の農家の協力を得て 2000 年から名古屋の棚田で米づくりを始め、2002 年から荒廃した**棚田の復元活動**を始め、あわせて**里山管理作業**を実践、**伝統的な農村景観の復元・再生活動**を行っています。

里地・里山の荒廃が全国で叫ばれています。戦後の燃料革命や高度経済成長期に起きた農山村から都市への人口流出により、里地・里山に暮らす人々が減少しました。人の手が入らなくなった里地・里山は、荒廃の一途をたどり、人々の暮らしは激変し、生物の多様性も著しく損なわれました。

環境省は、2004 年に全国 4 つの「**里地里山復元再生モデル事業**」の一つに「秦野市等」を指定し、丹沢ドン会では、全国に先駆ける取り組みを試行・実践しました。首都圏周縁で唯一のモデル地区「秦野市等」においては、他では見られない「**秦野モデル**」ともいえる里地・里山の復元再生活動が実践されています。地元や県内はもとより、東京・埼玉などの都市住民がボランティア参加する「丹沢自然塾」による再生・保全活動です。里山管理や荒廃した棚田を開墾・復元し、米づくりを行っています。

冬季湛水で地下水の涵養を図るとともに、棚田に水を引き込むことで、さまざまな生き物たちが帰ってきました。NPO 法人自然塾丹沢ドン会のフィールド「秦野市名古屋の棚田」では東海大学や東京農業大学などによる水生生物の調査や観察会が行われ、**生物多様性**の今を追跡・調査しています。



◆丹沢ドン会 HP : <http://www.donkai.com> Eメール : yumekoubou-t@nifty.com

会員数 120 家族 ・年会費 1 家族 2000 円

あゆみ 1992 年 3 月、丹沢ドン会発足

2001 年 9 月、特定非営利活動法人自然塾丹沢ドン会、神奈川県認証

定例活動日 毎月第 1・2・3 土曜日

◆1年間の主な活動

1～3月 雑木林・竹林の管理(間伐・
下草刈り・落ち葉集め・堆肥作り)、
棚田開墾作業、苗作り

4～5月 棚田作業(あぜ塗り、耕し)

6～7月 田植え、草刈り・草取り作業、
小麦刈り取り

8月 そばの種蒔き

9月 稲刈り・天日干し・脱穀作業

11月 そば刈り取り・天日干し・脱粒
12月 雑木林の管理作業、小麦種蒔き
＜通年＞畑での野菜作り

◆2010年丹沢自然塾(入会金1人3000
円、参加費1人1回500円)

①開講オリエンテーション・棚田の苗
作り教室

②里山植樹教室・丹沢山ろく学習会

③棚田の田植え準備教室

④棚田の田植え教室

⑤田んぼの生き物調査(午前)・棚田の音に耳を澄まそ
う(午後)

⑥そばの種蒔きと手打ちそば教室⑦棚田の稲刈り教室

⑧里山ウォーキング

⑨ドン会収穫祭(1人1000円、1品持ち寄り)

⑩新そば手打ち教室

⑪里山管理教室(羽根)



◆情報発信

- ・会報「ドンタン」「ドン会ニュース」の発行(通巻70号)
- ・ホームページ・ブログによる情報交流と発信
- ・丹沢シンポジウム・学習会の開催とブックレットの発行

◆メッセージ

・06年12月2日、3日、秦野市と協働で開催した「第3回団塊サミット in 丹沢」では、団塊世代を含めた一人ひとりの居場所を地域に、地域の創造をみんなの手で、と全国に発信。その内容は、月刊誌『ノジュール』No.4(07年2月号)にカラー6ページで特集。ドン会の活動は、『同誌』の07年6月号に「自然塾丹沢ドン会の歩む道」としてカラー5ページで特集。

・NHK BS2「オーイ、ニッポン わたしの好きな神奈川」(06年6月4日)では、丹沢ドン会の田植えのようすを名古屋の棚田から全国に生放送。他新聞・テレビ・ラジオに多数取り上げられる。

